



報道機関 各位

記者発表資料

令和4年1月24日（月）

問い合わせ先：特別支援教育室

室長：内河

担当：野上、米沢谷

電話：829-1667

内線：4078

さいたま市特別支援教育フォーラムを開催します
～さいたま市特別支援教育研究ネットワークの実践発表を行います～

さいたま市では、「さいたま市特別支援教育フォーラムーさいたま市特別支援教育研究ネットワーク実践発表ー」を開催します。

1 趣旨

「さいたま市GIGAスクール構想」を活用し、特別支援教育を受ける子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びの実現を目指して取り組んだ特別支援教育研究ネットワークの実践を報告し、本市の特別支援教育の普及・推進を行う。

2 テーマ

「特別支援教育を受ける子どもたちの個別最適な学びの充実」
～さいたま市特別支援教育研究ネットワークの実践を通して～

3 開催方式

オンデマンド開催

URL：<https://www.city.saitama.jp/003/002/017/007/p085695.html>



4 対象

市立学校教職員、保護者、教育関係者、学生など

※希望する方はどなたでも視聴いただけます

5 期間

令和4年1月20日（木）9：00～2月28日（月）17：00

6 内容

別添資料のとおり

さいたま市特別支援教育フォーラム

オンデマンド配信

～さいたま市特別支援教育研究ネットワーク実践発表～

令和4年1月20日 木 9:00 ▶ 2月28日 月 17:00

テーマ「特別支援教育を受ける子どもたちの個別最適な学びの充実」
～さいたま市特別支援教育研究ネットワークの実践を通して～



プログラム

(敬称略)

1 あいさつ	
教育長あいさつ	さいたま市教育委員会 教育長 細田 眞由美
2 行政説明	
「さいたま市特別支援教育研究ネットワーク」について	さいたま市教育委員会特別支援教育室 室長 内河 水穂子
3 実践発表	
キーワード ・肢体不自由児への入出力支援装置の活用 ・ICTを活用した合理的配慮	<特別支援学校> さいたま市立さくら草特別支援学校 教諭 松澤 隆治 さいたま市立ひまわり特別支援学校 教諭 横山 宗平
キーワード ・個別最適なワークシートの活用 ・教師の働き方改革	<特別支援学級> さいたま市立仲本小学校 教諭 山本 冴子 さいたま市立本太小学校 教諭 伊藤 美果 さいたま市立常盤中学校 教諭 熊谷 隆彦
キーワード ・学習評価におけるICTの活用 ・メタ認知を促すICTの活用	<難聴・言語障害通級指導教室> さいたま市立指扇小学校 教諭 坂田 美沙紀 さいたま市立高砂小学校 教諭 高井 優美
キーワード ・コミュニケーションツールとしてのICT活用 ・通級指導教室と通常の学級との連携	<発達障害・情緒障害通級指導教室> さいたま市立城南小学校 教諭 貝原 照代 さいたま市立大宮東中学校 教諭 細田 暁
キーワード ・個別最適な学びと合理的配慮	<通常の学級> さいたま市教育委員会特別支援教育室 主任指導主事 米沢谷 将 主任指導主事 三達 梨那 さいたま市教育委員会教育研究所 主任指導主事 堂脇 一修

視聴方法

次の①～③のいずれかの方法で視聴ができます。

- ① 右のQRコードを読み取る。
- ② 下記のURLでアクセスする。
<https://www.city.saitama.jp/003/002/017/007/p085695.html>
- ③ 下記のホームページへアクセスする。

「さいたま市／特別支援教育」のホームページの「さいたま市特別支援教育フォーラム」をクリックする。

主催・お問い合わせ

さいたま市教育委員会 特別支援教育室
さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号

TEL 048-829-1667

URL <https://www.city.saitama.jp/003/002/017/index.html>





議題 2

さいたま市特別支援教育研究フォーラム

ーさいたま市特別支援教育研究ネットワーク実践発表ー

さいたま市教育委員会

さいたま市特別支援教育研究ネットワークの目的

特別支援教育を受ける
子どもたちの可能性を
引き出す個別最適な学びの実現

特別支援教育を受ける子どもたち

特別支援学校、特別支援学級に在籍する児童生徒
通級指導教室に通う児童生徒

可能性を引き出す

自立と社会参加を目指してもてる力を
最大限に発揮できるようにする

個別最適な学びの実現

個別の指導計画に基づいた児童生徒一人ひとりの
障害の状態や特性に応じた指導の充実

さいたま市
G I G Aスクール構想

- ・ I C Tを活用した個別最適な学び
- ・ 学習コンテンツの充実
- ・ 学習記録の蓄積
- ・ 個別支援の充実

ひらがなを書くことを目標
にしているAくんに、自作の
「○○コンテンツ」を使って
授業をしたら、書ける文字が
増えてきました。

特別支援教育
研究ネットワークの構築

- ・ 指導事例の共有
- ・ 自走できる授業力向上システム



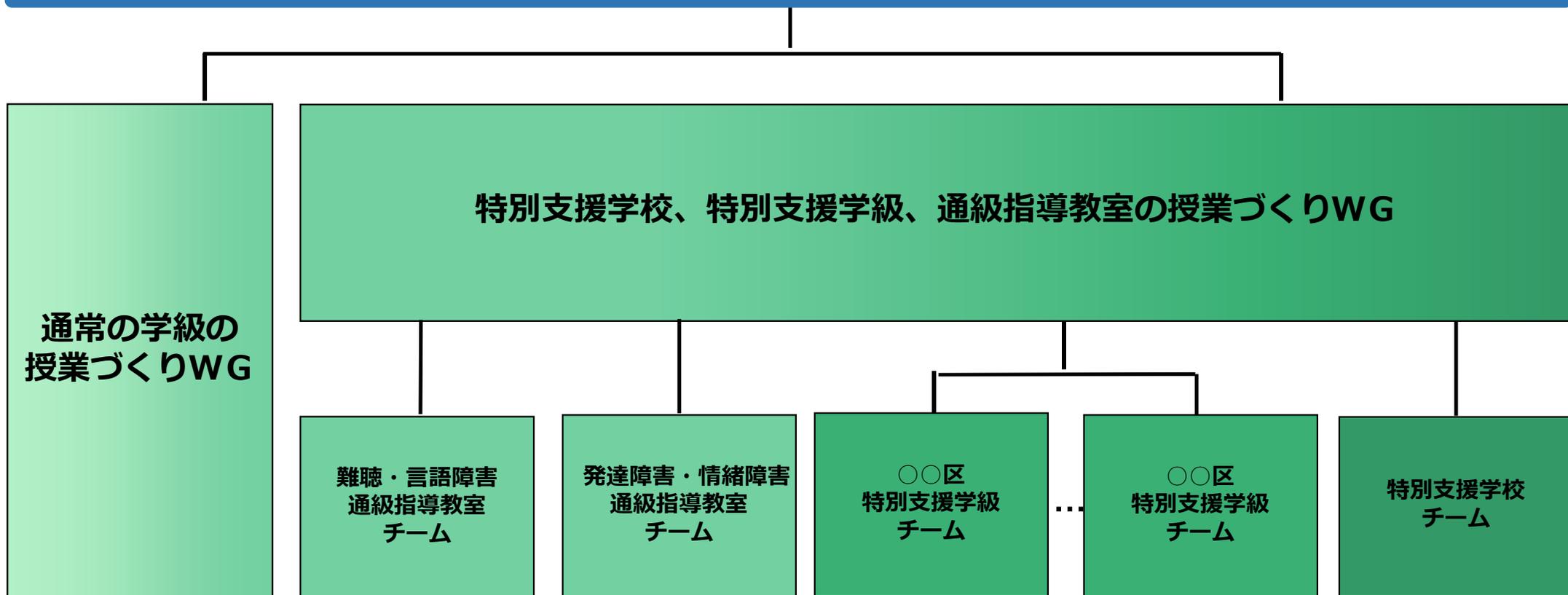
読むことが
苦手なBくん
に、読み上げ
機能を活用し
た支援をし
たら、学習内
容が理解で
きるようにな
ってきまし
た。

さいたま市特別支援教育研究ネットワークの組織

組織

特別支援教育研究ネットワークをつくり、自走できる授業力向上システムを構築する

特別支援教育研究推進委員会



■さいたま市特別支援教育研究ネットワークの取組の様子（例）

【指導・支援方法】自立活動「眼球運動」 (PowerPoint)

【指導・支援方法】自立活動「眼球運動」 (PowerPoint)

すべて折りたたむ

集中力を鍛えることが特別支援の子どもたちに必ずプラスになると考えています。遊び感覚で取り組めるのがとてもいいです。PowerPointの色使いがとても参考になりました。

本校でもやらせていただいていたいいですか？ ^^

ご自由にお使いくださいませ。お使いになって、お気づきのことがありましたら、お知らせいただくと嬉しいです。

ありがとうございます！
やってみます😊

目の動きが良くない児童の指導としてビジョントレーニングが楽しくできますね。本校でも取り組ませていただきたいです。

実施するときに、①画面が顔の正面に来るようにパソコンの高さを調節する。②画面と目の距離を30cmくらい程すといいと思います。

返信

■さいたま市特別支援教育フォーラムの開催

「特別支援教育を受ける子どもたちの個別最適な学びの充実」

～さいたま市特別支援教育研究ネットワークの実践を通して～

■期間 令和4年1月20日（木）9:00～2月28日（月）17:00

■方式 オンデマンド開催（さいたま市ホームページに掲載）

URL : <https://www.city.saitama.jp/003/002/017/007/p085695.html>

■対象 市立学校教職員、保護者、教育関係者、学生など



参加を希望する方はどなたでも視聴していただけます。

さいたま市特別支援教育フォーラムの内容

■ 教育長挨拶

■ 行政説明 「さいたま市特別支援教育研究ネットワーク」について

■ 実践発表 各研究チームの指導事例、研究の成果、今後の展望について発表します。

キーワード

特別支援学校

肢体不自由児への入出力支援装置の活用
ICTを活用した合理的配慮

キーワード

特別支援学級

個別最適なワークシートの活用
教師の働き方改革

キーワード

難聴・言語障害通級指導教室

学習評価におけるICTの活用
メタ認知を促すICTの活用

キーワード

発達障害・情緒障害通級指導教室

コミュニケーションツールとしてのICT活用
通級指導教室と通常の学級との連携

キーワード

通常の学級

個別最適な学びと合理的な配慮

特別支援教育担当教員が作成した、
約200事例の実践事例集も掲載しています。

1 (1) 指導事例 1 : コミュニケーションの学習

児童の実態と実践のねらい

【実態】

- ・小学部5年生
- ・重複障害（肢体不自由・知的障害）

【ねらい】

- ・意思の表出を促し、教師と双方向のコミュニケーションをとる。

実践内容

【コミュニケーションや気持ちの表出を促す支援】

- ①教師の言葉かけに対する応答
例) あいさつ、呼名への返事等の場面でセンサを握る。
- ②教師の問いかけに対する返答
例) 「はい」は1回、「いいえ」は0回 等
- ③言葉の模倣
例) 「名前呼びの歌」で教師の名前を呼ぶ、絵本の読み聞かせ 等



児童がピエゾセンサを片手で持ち、学習活動中に自分で自由に操作できるようにする。

コントロールボックスが緑色のセンサのわずかな動きに反応し、光と音、入力された力の大きさを発信する。



1 (1) 指導事例：ねらいと実践内容

事例1：Aさん

児童の実態と実践のねらい

【実態】

- ・ 小学校知的障害特別支援学級 1年生

【ねらい】

- ・ 2音の清音の単語について、2つの音の順番を理解し、ひらがなで書く。

実践内容



2つの音の単語を自分で書いている様子。

事例2：Bさん

児童の実態と実践のねらい

【実態】

- ・ 小学校知的障害特別支援学級 2年生

【ねらい】

- ・ 拗促音のある単語を、自分の発音に合わせてカタカナで書く

実践内容



カタカナで拗促音の単語を書いている様子。



■さいたま市特別支援教育フォーラムの開催

「特別支援教育を受ける子どもたちの個別最適な学びの充実」

～さいたま市特別支援教育研究ネットワークの実践を通して～

■期間 令和4年1月20日（木）9:00～2月28日（月）17:00

■方式 オンデマンド開催（さいたま市ホームページに掲載）

URL : <https://www.city.saitama.jp/003/002/017/007/p085695.html>

■対象 市立学校教職員、保護者、教育関係者、学生など



参加を希望する方はどなたでも視聴していただけます。